



2022年

おすすめの本 4～6歳

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



本を読むのはおやすみの前？ いいえ、いつでも。
あるとき本は楽しいおもちゃ。あるときはごほうび。ある
ときはねむりの呪文。くりかえし読むうちに、ことばやり
リズムは本をぬけだし、日々のことばやりリズムとなるのです。



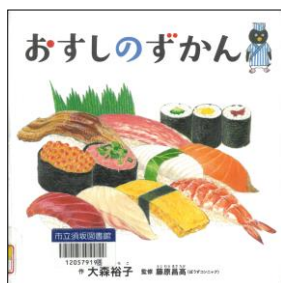
あおくんときいろちゃん

レオ・レオーニ/作 藤田圭雄/訳 至光社

「あおくんです」いきなりはじまるこのひとことで、
シンプルな〇は、「あおくん」になります。色だけで、
こんなにもやさしく深く人間関係を教えてくれる絵本
はありません。ロングセラーのボードブック。

小型絵本コーナー | Eレオ

すぎかとしょかん



おすしのずかん

大森裕子/作 白泉社

へい、いらっしやい！ みんながだいすきなおすしと、おすしになるさかなのずかんだよ。「きょうは、どれたべる？」「さーもんは、こんなさかなだよ」なんて、おでかけのおともにも。

小型絵本コーナー E八



ぴよんぴよんガエルくん

岡田よしたか/作 ひかりのくに

さとしくんの、かえるのおもちゃ。あそびつかれて、にげだしたのに、どうぶつたちが、つぎつぎとやってきて、おおいそがし。とうとう、とうみんすることに……。はじめて出会うユーモア絵本。

小型絵本コーナー E七



あのね あのね

えがしらみちこ/作 あかね書房

「あのね、きょうね」おむかえのじてんしゃにのると、おとこのこは、すぐにしゃべりはじめます。でも、うまくつたわらなくて……。帰り道の自転車でかわされる、親子の語らいをえがく絵本。

E 九

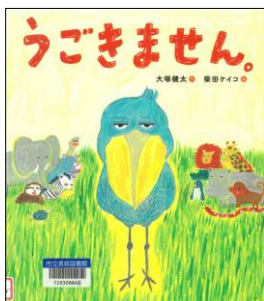


はしごしゃの のびるくん

正高もとこ/作 鎌田歩/絵 岩崎書店

おおきくて、かっこいいのがじまんの、はしごしゃ。でも、ちいさなまちでは、でばんがなくて、るすばんばかり。とうとう、うごかなくなってしまいます。助け合いのたいせつさを伝える、のりもの絵本。

E カマ



うごきません。

大塚健太/作 柴田ケイコ/絵 パイインターナショナル

いつもじっとしているハシビロコウ。ともだちのカバがきても、ヘビがきても、うごきません。なにがおきても、うごかないのかな? 「読んで」から、「読む」につながるきっかけになる絵本。

E シハ



すみれおばあちゃんのひみつ

植垣歩子/作 偕成社

すみれおばあちゃんは、ぬいものじょうず。でも、だんだんとしをとって、はりにいとをとおすのが、むずかしくなってきました。だれか、おてつだいをしてくれるひとを、さがしていると……。

E ウエ

しあわせなクレヨン

丸山陽子/作 BL出版

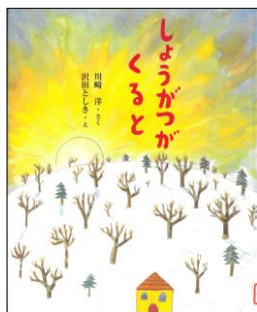


クレヨンたちは、まっていた。じぶんたちは、どんなこのクレヨンになるのかなと。つかわれたクレオンは、みじかくなって、うれしそう。でも、「しろ」だけは、いちどもつかってもらえなくて……。

E マル

しょうがつがくると

川崎洋/作 沢田としき/絵 すずき出版

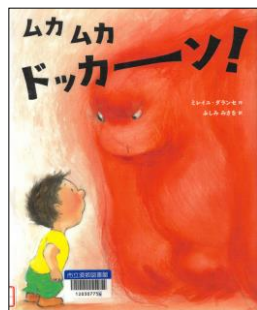


おしょうがつがくると、やまで、うんどうかいがはじまります。かぜがふくと、かけえあそびができます。どうしてかな？ 確かなことばと絵で、日本の季節をあじわう良質な絵本。

E サワ

ムカムカドッカーン！

ダランセ/作 ふしみみさを/訳 パイインターナショナル



いちにち、いや～なことばかりだったおとこのこが、へやにとじこもっていると、おおきな「いかり」がこみあげてきて……。目にみえない「きもち」の存在を子どもに伝える絵本。

E ダラ